

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第75期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 オルガノ株式会社

【英訳名】 ORGANO CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 内 倉 昌 樹

【本店の所在の場所】 東京都江東区新砂1丁目2番8号

【電話番号】 03(5635)5105

【事務連絡者氏名】 経営統括本部 経理部長 安 藤 実

【最寄りの連絡場所】 東京都江東区新砂1丁目2番8号

【電話番号】 03(5635)5105

【事務連絡者氏名】 経営統括本部 経理部長 安 藤 実

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第74期 第1四半期 連結累計期間	第75期 第1四半期 連結累計期間	第74期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	16,926	20,149	92,273
経常利益 (百万円)	25	1,367	6,538
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( ) (百万円)	208	807	4,452
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	357	824	4,057
純資産額 (百万円)	51,000	55,113	54,795
総資産額 (百万円)	91,593	103,176	101,257
1株当たり四半期(当期)純利益又は四半期純損失( ) (円)	18.15	70.68	388.48
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	55.5	53.3	54.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 当第1四半期連結累計期間及び第74期の1株当たり四半期(当期)純利益の算定において、役員向け株式交付信託が保有する当社普通株式を自己株式として処理していることから、期中平均株式数は当該株式を控除対象の自己株式に含めて算出しております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国・欧州における景気の減速に加え、米中の貿易摩擦の影響など世界景気の悪化に対する警戒感を背景に、先行きに対する不透明感が非常に強い状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましても、国内を中心に足元での生産活動や設備投資には底堅い動きが見られるものの、電子産業分野においては米中貿易摩擦の問題や、スマートフォン需要の停滞、メモリ・液晶パネル市況の悪化などを背景に先行きに対しての厳しい見方が広がっており、半導体関連の大規模な設備投資に対する慎重な動きがみられました。

このような状況の下、当社グループはコスト競争力の強化と生産性・収益性の改善、差別化商品・技術の創出を目指し「電子産業分野の拡大」、「機能商品事業の強化」、「新規事業の創出」を重点課題として各種の取組みを進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、受注高19,514百万円（前年同期比0.4%増）、売上高20,149百万円（同19.0%増）、営業利益1,305百万円（前年同期は営業利益33百万円）、経常利益1,367百万円（前年同期は経常利益25百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益807百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失208百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法等を変更しているため、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

#### [水処理エンジニアリング事業]

当事業におきましては、電力・上下水分野は火力発電所の水処理設備を受注するなど前期をやや上回る水準で推移しております。電子産業分野では先行きの不透明感などから大規模な設備投資に対して慎重な動きが見られるなど受注高が若干減少いたしました。売上高は前期以前に受注した国内・中国・台湾における大型プロジェクトの工事が順調に進捗したこと、また消耗品交換等のメンテナンスや設備の改造・改善工事等のソリューションサービスも好調に推移したことなどから前年同期比で増加いたしました。また、一般産業分野においては、国内を中心とした生産活動・設備投資の底堅い動きを背景に受注・売上ともに堅調に推移しております。一方、利益面につきましても、電子産業分野を中心とした売上拡大による増収効果に加え、各種の原価低減策などによってプラント部門の利益率が改善したこと、ソリューションサービスが順調に推移したことなどから前年同期に比べ大幅な増益となりました。この結果、受注高15,072百万円（前年同期比1.3%増）、売上高15,573百万円（同25.1%増）、営業利益1,107百万円（前年同期は営業損失234百万円）となりました。

#### [機能商品事業]

当事業におきましては、国内を中心に生産活動・設備投資が底堅く推移したことを背景に、一般産業・電子産業向けの標準型機器・フィルター、排水処理剤や冷却水処理剤など水処理薬品の販売が順調に推移いたしました。一方、新商品・新技術への開発投資や海外展開の強化に向けた生産・販売ネットワーク体制の拡充に伴う経費などが増加した結果、受注高4,442百万円（前年同期比2.2%減）、売上高4,575百万円（同2.3%増）、営業利益197百万円（同26.2%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,918百万円増加し、103,176百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金1,844百万円の減少に対し、仕掛品を中心としたたな卸資産1,908百万円、現金及び預金1,888百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,600百万円増加し、48,062百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金3,014百万円の減少に対し、短期借入金3,263百万円、長期借入金2,199百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ317百万円増加し、55,113百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金301百万円の増加によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は488百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,392,000
計	25,392,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,589,925	11,589,925	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であり ます。
計	11,589,925	11,589,925		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年6月30日	-	11,589	-	8,225	-	7,508

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 81,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,453,400	114,534	
単元未満株式	普通株式 55,325		
発行済株式総数	11,589,925		
総株主の議決権		114,534	

- (注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式88株が含まれております。  
 2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式85,500株(議決権の数855個)が含まれております。なお、当該議決権855個は、議決権不行使となっております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) オルガノ株式会社	東京都江東区 新砂1丁目2番8号	81,200		81,200	0.70
計		81,200		81,200	0.70

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式(85,500株)は、上記自己保有株式には含まれておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査法人は次のとおり交代しております。

第74期連結会計年度 アーク有限責任監査法人

第75期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間 有限責任 あずさ監査法人

また、アーク有限責任監査法人は、2019年7月1日をもって、明治アーク監査法人から監査法人の種類及び名称を変更しております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,276	13,165
受取手形及び売掛金	2 40,256	2 38,411
リース投資資産	13,574	13,104
商品及び製品	4,717	4,818
仕掛品	2,717	4,539
原材料及び貯蔵品	1,426	1,411
その他	2,206	2,634
貸倒引当金	139	138
流動資産合計	76,037	77,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,850	17,873
減価償却累計額	12,339	12,420
建物及び構築物(純額)	5,511	5,452
機械装置及び運搬具	5,576	5,582
減価償却累計額	4,879	4,915
機械装置及び運搬具(純額)	696	667
土地	12,288	12,290
建設仮勘定	45	111
その他	4,968	4,944
減価償却累計額	4,236	4,219
その他(純額)	731	724
有形固定資産合計	19,272	19,246
無形固定資産	1,209	1,144
投資その他の資産		
投資有価証券	1,621	1,650
繰延税金資産	2,628	2,711
その他	767	749
貸倒引当金	278	274
投資その他の資産合計	4,739	4,836
固定資産合計	25,220	25,228
資産合計	101,257	103,176



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	2 18,516	2 15,502
短期借入金	13,458	16,722
未払法人税等	1,546	661
前受金	1,499	2,306
賞与引当金	1,165	499
製品保証引当金	321	337
工事損失引当金	84	92
役員株式給付引当金	95	126
その他	2 3,242	3,086
流動負債合計	39,930	39,334
<b>固定負債</b>		
長期借入金	200	2,400
繰延税金負債	8	10
退職給付に係る負債	6,209	6,236
その他	111	80
固定負債合計	6,531	8,727
負債合計	46,462	48,062
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	39,967	40,268
自己株式	629	629
株主資本合計	55,071	55,372
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	273	247
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	193	175
退職給付に係る調整累計額	494	472
その他の包括利益累計額合計	414	401
非支配株主持分	138	142
純資産合計	54,795	55,113
負債純資産合計	101,257	103,176

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	16,926	20,149
売上原価	13,128	14,791
売上総利益	3,798	5,358
販売費及び一般管理費	3,764	4,053
営業利益	33	1,305
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	12	12
持分法による投資利益	20	73
その他	19	15
営業外収益合計	57	111
営業外費用		
支払利息	17	34
為替差損	31	11
貸倒引当金繰入額	16	1
その他	1	1
営業外費用合計	66	48
経常利益	25	1,367
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産廃棄損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	25	1,366
法人税等	242	558
四半期純利益又は四半期純損失( )	217	807
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	8	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	208	807

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	217	807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	25
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	182	21
退職給付に係る調整額	30	21
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	140	16
四半期包括利益	357	824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338	820
非支配株主に係る四半期包括利益	18	4

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	
税金費用の計算	当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
従業員の銀行借入金に対する保証債務	4百万円	4百万円
契約履行保証		
オルガノ(ベトナム)CO.,LTD.	89百万円	73百万円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	218百万円	190百万円
支払手形	1,431百万円	468百万円
設備支払手形(流動負債「その他」)	12百万円	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	216百万円	274百万円
のれんの償却額	0百万円	0百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	322	28	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	506	44	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,453	4,473	16,926		16,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	81	82	82	
計	12,453	4,555	17,008	82	16,926
セグメント利益又は損失( )	234	267	33		33

(注) セグメント利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,573	4,575	20,149		20,149
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	80	80	80	
計	15,574	4,656	20,230	80	20,149
セグメント利益	1,107	197	1,305		1,305

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、中期経営計画において機能商品事業を重点分野の一つとしており、新商品開発や海外市場での生産・販売体制の確立に取り組んでおります。当第1四半期連結会計期間より、機能商品事業の強化に伴う業績管理区分の見直しを行い、従来「水処理エンジニアリング事業」に含まれていた海外現地法人の機器・薬品事業を「機能商品事業」に含める変更をしております。また、重点分野である機能商品事業の業績を連結ベースでより適切に評価するため、セグメント間の内部売上高又は振替高の測定方法を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失( )	18.15円	70.68円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失( )(百万円)	208	807
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又 は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(百万円)	208	807
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,510	11,423

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 役員向け株式交付信託が保有する当社普通株式を、当第1四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(当第1四半期連結累計期間85千株)。

## 2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

オルガノ株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小	林	雅	彦	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	桑	本	義	孝	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオルガノ株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オルガノ株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。